

第 11 回温室効果ガス制御技術国際会議

11th International Conference on Greenhouse Gas Control Technologies

(GHGT-11)を開催します！

ポイント：

RITE は、11 月 18～22 日の 5 日間、第 11 回温室効果ガス制御技術国際会議 (GHGT-11) を国立京都国際会館にて IEAGHG と共同で開催します。本会議は、IEA 実施協定の一つである IEAGreenhouse Gas R&D Programme (RITE は日本代表機関) が後援する国際会議で、温室効果ガスの制御技術、特に CCS (CO₂ 回収と貯留) に関する技術に関して、研究発表ならびに実用化に向けた議論が行われます。

会期中、口頭発表約 300 件、パネルディスカッション 6 件、ポスターセッション約 600 件が予定され、世界 52 ヶ国から 1,200～1,300 名の参加が見込まれています。CCS 分野における研究開発等の第一人者が一堂に集まる国際会議としては、世界最大のものです。

【内容】

当機構は、第 11 回温室効果ガス制御技術国際会議 (GHGT-11) を国立京都国際会館にて、11 月 18 日～22 日の 5 日間、IEAGHG と共同で開催します。本会議は、IEA 実施協定の一つである IEAGreenhouse Gas R&D Programme (RITE が日本代表機関) が後援する国際会議で、温室効果ガスの制御技術、特に CCS (CO₂ 回収と貯留) に関する研究発表・討論が行われます。本会議は 1992 年アムステルダムで第 1 回会議を開催以降、北米、ヨーロッパ、アジア・太平洋地域持ち回りで隔年開催しており、日本では 2002 年の GHGT-6 開催以降、10 年ぶりの開催となります。

本会議では、テーマを「CCS, Ready to Move Forward」と題し、CCS 技術が議論の中心となりますが、日本でも苫小牧沖での CCS 大規模実証が始まるこのタイミングで開催されることは意義深いものとなります。

「IEA エネルギー技術展望 2012」によれば、「2 度上昇抑制シナリオを達成するためには CCS が今後も長期的に極めて重要な役割を果たすこと」が示されています。本会議では、CCS に関する学術的な議論はもとより、法規制、政府の支援、CCS を実用化させるための課題などを含め、世界の第一人者が結集して国際的な議論がなされます。

プログラムは、基調講演等の全体会議と、技術テーマ毎に口頭発表やポスター発表を行うテクニカルセッションから構成されています。基調講演では、株式会社東芝 取締役会長 西田厚聰氏、GCCSI CEO Brad Page 氏、米国エネルギー省 シニア CCS アドバイザー Jay

Braitschs 氏らの基調講演をはじめ計 9 件の講演が予定されています。テクニカルセッションでは、口頭発表約 300 件、パネルディスカッション 6 件、ポスターセッション約 600 件が予定されています。

さらに、最終日のファイナルパネルディスカッションでは、「地球温暖化対策のために～エネルギーベストミックスと国際連携の推進」と題して、CCS を含めた温暖化対策のあり方について議論を行います。

参加者数は世界 52 ヶ国から 1,200～1,300 名が見込まれており、CCS 分野における研究開発等の第一人者が一堂に集まる国際会議としては世界最大のものとなります。

添付：GHGT-11 プログラム

報道担当・問い合わせ先

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査広報グループ 大倉、辰巳
電話番号：0774-75-2301、FAX 番号：0774-75-2314

以上



GHGT-11 - 第11回温室効果ガス制御技術国際会議 -

1. 開催日 : 2012年11月18日(日)～ 22日(木) (11月18日はウェルカムセッション)

2. 会場 : 国立京都国際会館 (京都市左京区室ヶ池) 他

3. 主催 : RITE & IEAGHG (IEA Greenhouse Gas R&D Programme)

4. テーマ : **CCS, Ready to Move Forward**

5. プログラム概要 :

《全体スケジュール(プログラム種別)》

	11月18日(日)	11月19日(月)	11月20日(火)	11月21日(水)	11月22日(木)
午前		A	A	A	A
午後		B	B	B	B
夜	C		B	B	A

A: プレナリーセッション, B: テクニカルセッション, C: ソーシャルプログラム

(1) 基調講演等

➢ 11月19日(月)9:30～11:00

1) 機東芝 取締役会長 西田 厚聰 氏 “Aiming for true harmony between energy and the environment”

2) GCCSI, CEO, Brad Page 氏 “International progress on CCS: current status and recommendations for the future”

3) USDOE, Senior Advisor for Strategic Planning, Jay Braitsch氏

“CCS Projects are Becoming Reality - the USA Demonstration Program”

➢ 11月20日(火)～22日(木)8:30～9:20: 計6名の講演

<11/20>・IEA, Juho Lipponen氏 “A global vision for CCS – revisiting the IEA CCS Roadmap”

・MIT, Francis O’Sullivan氏 “The global gas supply revolution – Scale, cost and the implications for CCS”

<11/21>・東京大学 佐藤光三氏 “GHGT101: Carbon Storage in Japan”

・World Steel Association, Henk Reimink氏

“Deployment of CO₂ Capture Technology in Energy Intensive Industry - Challenges Ahead: A Case Study for the Steel Industry”

<11/22>・Ecofys, Chris Hendriks氏 “Overview and recent developments on CO₂ transport infrastructure”

・RITE 秋元圭吾 “Beyond Kyoto – More Effective Framework for Climate Change”

➢ ファイナルパネルディスカッション: 11月22日(木)14:00～15:30

【テーマ】地球温暖化対策のために～エネルギーベストミックスと国際連携の推進～

【議長】 山地 憲治 (RITE 理事・研究所長)

【パネリスト】

① Juho Lipponen 氏 (IEA, Head of Carbon Capture & Storage Unit)

② James A. Edmonds 氏 (PNNL Joint Global Change Research Institute, Laboratory Fellow and Chief Scientist)

③ Jiang Kejun 氏 (中国国家発展改革委員会 能源研究所, Director for Energy System Analysis and Market Analysis Center)

④ 橋川 武郎 氏 (一橋大学大学院商学研究所教授)

⑤ 立花 慶治 氏 (一般財団法人電力中央研究所 研究アドバイザー)



GHGT-11

- 第11回温室効果ガス制御技術国際会議 -

(2) テクニカルセッション

➤ 口頭発表数約300件、パネルディスカッション6回、ポスターセッション2コマ (発表数約600件)

《口頭発表セッションテーマ一覧》

	A	B	C	D	E	F	G
11/19(月)	Storage Capacity	Post-Combustion: Solvents Plots	Negative CO2	Technology Assessment I: Cost and Risk	Techno-Economic Comparisons	Wellbore Integrity	Industrial sources
	CO2 Injectivity	Post-Combustion: Solvent Alternatives	Demonstration Projects: Storage	Technology Assessment II: Operational Flexibility	Membranes	Modelling: Nanoscale to Core Scale	Industrial sources
	Environmental Impacts	Post-Combustion: Two-Phase Solvents	Demonstration Projects: US Regional Carbon Sequestration Partnerships	Panel Discussion	Enhanced Hydrocarbon Recovery I	Modelling: Managing Uncertainty	Commercial Issues
11/20(火)	Experiences and Case Studies	Post-Combustion: Environment Characterisation	Demonstration Projects: Policy Related Issues	Panel Discussion	Enhanced Hydrocarbon Recovery II	Monitoring: Pressure Methods	Retrofitting
	Monitoring: Demonstration and Pilot Projects	Post-Combustion: Modelling	Demonstration projects: Capture and Transport	Panel Discussion	Post-Combustion: Environmental Nitrosamine	Reservoir Engineering: Multi-Phase Flow of CO2 and Brine	Transport & Infrastructure
	Site Characterisation and Selection	Sorbent systems	Demonstration Projects: Post-Combustion Capture	Panel Discussion	Oxy-Combustion: Combustion Fundamentals	Legal & Regulatory	Transport & Infrastructure
11/21(水)	Trapping Mechanisms: Case Studies	Post-Combustion: Environmental Aerosol	System Integration I: Power Systems	Panel Discussion	Capture Pre-Combustion Process	Monitoring: Geochemical Methods	Policy: Emissions Trading
	Risk Assessment and Management I	Post-Combustion: Advanced Solvents	System Integration II: Infrastructure	Panel Discussion	Novel Systems	Monitoring: Geophysical Imaging	Education
	Reservoir Engineering: Pressure Management	Chemical Looping	Policy: Other	Public Perception: communication activities and experiences	Oxy-Combustion: CO2 Processing unit	Trapping Mechanisms: Geochemical	Transport & Infrastructure
11/22(木)	Risk Assessment and Management II	Post-Combustion: Contractors	Emerging Technologies	Public Perception: social science research	Pre-Combustion: Technology	Trapping Mechanisms: Capillarity and Heterogeneity	Other Underground Storage Options
	Modelling: Reservoir-Scale Flow and Transport	Post-Combustion: Solvent Fundamentals	CCS and Geothermal	Risk Management: Contingency Planning and Remediation	System Integration III: Other	Ex Situ Mineralisation of CO2	Oxy-Combustion: Large Scale Implementation

(3) ソーシャルプログラム

- ウェルカムレセプション: 11月18日(日) 17:30~21:00 於: ホテルグランヴィア京都
- コンファレンスディナー: 11月21日(水) 19:00~22:00 於: ウェスティンホテル京都

(4) 事前参加登録

- 2012年11月15日(木)(日本時間)まで: 一般: 11万円/人、学生: 4万5千円/人



GHGT-11

11th International Conference on
Greenhouse Gas Control Technologies

18 - 22 November 2012

Kyoto International Conference Center - Japan

第 11 回温室効果ガス制御技術国際会議 (GHGT-11) 報道取材要領

1. 日程:

2012 年 11 月 19 日(月)-22 日(木)

2. 場所:

国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

3. 報道取材要領:

(1) プレスルーム:

① 会場 1 階入口を歩いて左手一番手前の Room F をプレスルームとしてご用意いたします。無線 LAN 及び有線 LAN 回線によるインターネットのご利用が可能です。パソコンはご持参下さい。なお、会場内「ビジネスセンター」でコピー、FAX、プリンターを有料でご利用いただけます。

② プレスルームのご利用可能時間は以下のとおりです。

- ・11 月 19 日(月)07:45-17:20
- ・11 月 20 日(火)08:00-17:20
- ・11 月 21 日(水)08:00-17:20
- ・11 月 22 日(木)08:00-16:00

(2) 注意事項:

① 記事記者の方は、開会式、基調講演、プレナリーセッション、ファイナルパネルディスカッション、閉会式のほかに、テクニカルセッション(口頭発表及びポスターセッション)の取材も可能です。テクニカルセッションを除き、英語-日本語の同時通訳が入ります(テクニカルセッションは英語のみです)。また、展示会場(1階宴会場「SAKURA」)もご自由に取材いただけます。

② テクニカルセッションの討議内容に関して報道される場合は、自由闊達な議論を確保するため、発言者を特定できないようにしていただきますようお願いいたします。

③ テレビ・ビデオ・写真撮影は以下のセッション(場所は全てメインホール)及び展示会場でのみ可能です。(テクニカルセッションでのテレビ・ビデオ・写真撮影は固くお断りいたします。)

- ・11 月 19 日(月)09:00-11:00 開会式・全体会議(Welcome & Keynote Address)
- ・11 月 20 日(火)08:30-09:20 全体会議(Plenary Session)
- ・11 月 21 日(水)08:30-09:20 全体会議(Plenary Session)
- ・11 月 22 日(木)08:30-09:20 全体会議(Plenary Session)
- ・11 月 22 日(木)14:00-15:30 ファイナルパネルディスカッション(Final Panel Discussion)
- ・11 月 22 日(木)15:30-16:00 閉会式(Closing Session)





GHGT-11

11th International Conference on
Greenhouse Gas Control Technologies

18 - 22 November 2012

Kyoto International Conference Center - Japan

<展示>

- ・11月19日(月)11:00-17:45
- ・11月20日(火)08:00-17:45
- ・11月21日(水)08:00-17:45
- ・11月22日(木)08:00-14:00

(3)プレス登録:

取材を希望する報道関係者の方は、別紙様式にご記入の上、2012年11月16日(金)17:30までにメールまたはFAXで事前登録をお願いします。事前登録が無い場合は、原則として当日の取材をお断りさせていただきますので、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

(4)取材記者証の交付:

会場内受付におけるプレス専用受付で交付いたします。その際は、ご本人確認ができるもの(写真付きID等)をご提示下さい。

<受付時間>

- ・11月19日(月)07:45-15:30
- ・11月20日(火)08:00-15:00
- ・11月21日(水)08:00-15:00
- ・11月22日(木)08:00-13:00

(5)その他:

当日お渡しする取材記者証をご提示いただくことで、会期中の昼食、コーヒープレイク時の飲み物を、会議参加者と同様にご利用いただけます。ただし、ウェルカムレセプション(11月18日(日)17:30-21:00 於; ホテルグランヴィア京都)とコンファレンスディナー(11月21日(水)19:00-22:00 於; ウェスティン都ホテル京都)に関しては、当該レセプション及びディナー開催中に得た情報をオフレコ扱いにさせていただくという制約の下でご参加いただけます。

【問い合わせ及び参加登録先】

公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)
企画調査広報グループ(大倉、辰巳)
〒619-0292
京都府木津川市木津川台9丁目2番地
TEL: 0774-75-2301
FAX: 0774-75-2314
E-mail: ookura@rite.or.jp





GHGT-11

11th International Conference on
Greenhouse Gas Control Technologies

18 - 22 November 2012

Kyoto International Conference Center - Japan

第 11 回温室効果ガス制御技術国際会議 (GHGT-11) 取材登録票

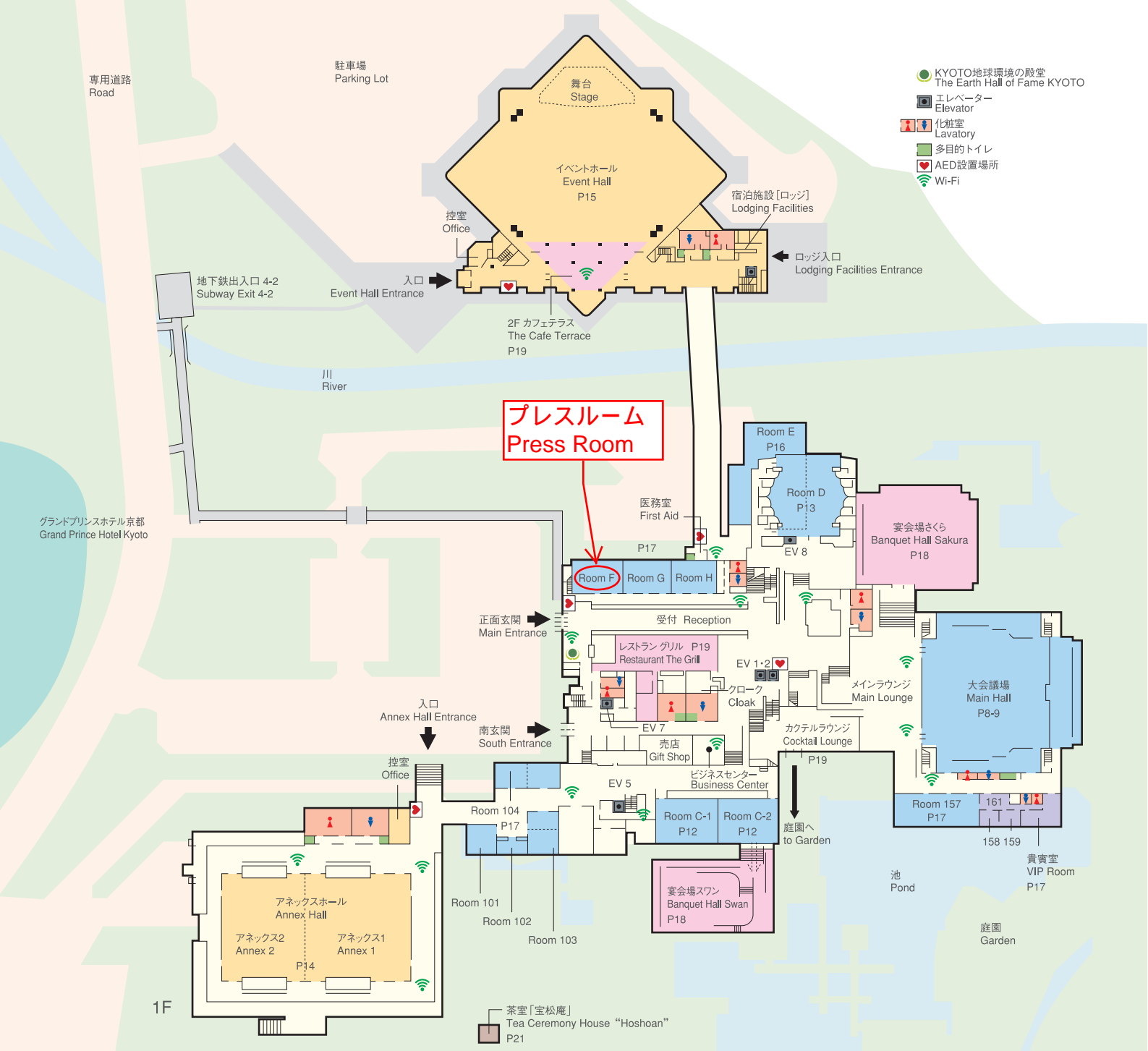
貴社名	
取材者ご氏名	
希望取材内容 (右欄のいずれかに○をお付け下さい)	記事のみ
	ムービー・スチールカメラ有
同行カメラマン	名
連絡先電話番号及び電子メールアドレス	

上記のご記入の上、2012年11月16日(金)17:30までに
RITE 企画調査広報グループ(大倉、辰巳)まで FAX または電子メールでご返信下さい。

FAX: 0774-75-2314

電子メール: ookura@rite.or.jp





- KYOTO地球環境の殿堂 The Earth Hall of Fame KYOTO
- エレベーター Elevator
- 化粧室 Lavatory
- 多目的トイレ
- AED設置場所
- Wi-Fi

